医療法人惇慧会
外旭川病院だより
第7号
発行：2022年3月

新医局長あいさつ ／ 新任医師の紹介 ／ [部署紹介]検査科 ／ [チーム医療]栄養サポートチーム

新医局長あいさつ

医局内の情報伝達　円滑な診療に貢献したい



小谷野　博正

医局長を拝命致しましたのでここにあいさつとさせていただきます。

外旭川病院に赴任して、もうすぐ2年になります。今回、医局長を拝命したこともあり、診療部会、診療管理会議、医療安全管理委員会、等々、院内の会議が増えました。病院に貢献できるよう、参加していければと思っています。また、医局内の情報伝達、コミュニケーションも円滑に図れるように留意していきたいと考えています。

コロナウイルス感染症の出てくる前には、医局会を定期的に開いていたとのことですが、コロナウイルス感染症が出て以来、医局会は中止されております。医局会の役割である、意見の交換、調整、要望や決定事項の伝達、が、損なわれないよう、皆様が円滑に診療にあたれるよう、何らかの形で貢献できればと考えています。

病院機能評価の準備も始まり、一員として参加させていただいています。病院機能評価の準備をする中で、診療の質の向上、安全性の担保など、日常の診療を見直す良い機会にできればと思います。その中で、かつて行われていた、医局症例検討会、を同じような形で再開できればと検討しております。対応に迷う症例、検討したい画像、振り返って考えると示唆に富む症例、デスケース、に対して、医師、関連職種が集まって、話し合う場があると有意義かと思います。またその折にはアナウンスさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症、それによる自粛、病院機能評価、と、ストレスがたまりやすい日々が続きますが、皆様とともに自分のペースを維持しながら乗り切っていければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

新任医師の紹介

外旭川病院

須藤　和久（すどう　かずひさ）

日本内科学会 認定内科医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医
日本医師会 認定産業医



患者さんとじっくり向き合い寄り添う医療を
全人的医療の実践はチームで

令和３年４月より勤務させていただいている須藤和久と申します。

秋田大学を卒業後、秋田赤十字病院で初期臨床研修を２年間行いました。その後は秋田大学医学部附属病院、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院などの秋田市内の総合病院で呼吸器内科医として、肺炎の診断と治療、肺癌の診断や化学療法など主に急性期医療に携わってまいりました。急性期医療のやりがいはありましたが、より患者さんとじっくり向き合って寄り添える医療をおこないたいという思いが段々と強くなっていき、その後当院で働かせていただけることとなりました。現在は療養病棟で慢性期医療のチームの一員として診療しております。

療養病棟では多彩な併存症をもつ患者さんが多く入院されており、一般内科も含めた全身的な治療やケアが必要とされます。これまで私が携わってきた急性期医療で学んだことを活かすのはもちろんのことですが、特定の科にとらわれず患者さん全身を「診る」ということの重要性を実感しています。また、全人的医療を実践するためには多職種との密な連携が極めて重要だと考えており、患者さんによりよい療養生活を提供するためにチームとして日々努力しています。

ここ数年は世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、社会の経済活動に加えて日常診療についても多くの制限が課されている状況です。当院に入院されている患者さんにおいては、新型コロナウイルス感染により重症化してしまうリスクの高い方が多くおられます。感染対策をおこないながら患者さん、ご家族様にとって安心していただけるような医療を提供できるように努めてまいります。

当院に入職して早くも１年が経とうとしています。これからも地域医療に貢献できるように尽力していきますので、何卒よろしくお願いいたします。

部署紹介

検査科

診療技術部 検査科
臨床検査技師　深浦　洋子

検査科では２名の臨床検査技師が、医師から依頼された検査を実施しています。提出される検体は、血液をはじめ尿、便、痰、穿刺液（せんしえき）、組織など多岐にわたります。

検査技師の仕事で主に重要なことは下記の３点です。

①提出された検体が検査に適した状態か

当院の患者さんは採血が難しい方が多いので、規定量採血できない場合があります。できる限り検査ができるように工夫することもありますが、凝集や溶血がある場合は、結果に影響を与えますので、再採血をお願いしています。

②検査機器が正しく測定できる状態かどうか

毎日検体測定前に精度管理という作業を行っています。ある物質は 10 という値が出るように調整されています。物質を測定した場合、10 と測定されるか確認する作業です。10 と測定されない場合は、何が原因なのか検索し 10 となるように機械の調整を行います。精度管理は自分の施設だけではなく、秋田県、全国と精度管理調査があり、参加も義務となっています。すべての施設が 10 と測定されるようにすることで、病院間での検査結果の共有も可能となります。

③検査機器から出された結果は問題ないか、また緊急を要する値か判断する

精度管理を行っていても、時々ん？と思う結果が出る場合があります。このまま報告していいのか、再検査、再採血が必要か、他の結果を見ながら判断し、結果を報告、必要であれば直接医師に連絡をします。心掛けていることは、検査結果を見るのではなく、診る、そして読み取るようにしています。

臨床検査技師という職業は病院の中でもマイナーな職業です。最近はコロナのおかげで、「PCR 検査をしている人」と、ほんの少しは認知されたかなと思います。コメディカルを主人公にしたドラマも増えてきましたが、検査技師が主人公になる日がいつか来るのかなぁ、と思う今日この頃です。



外旭川病院ホスピス 実践公開講座

テーマ：第１回 せん妄への対応
日　時：3月29日（火）18:30～19:30

当院ホスピスで実践している緩和ケアの専門的知識を地域の医療機関、介護・福祉施設に提供する公開研修プログラムです。Zoom を使用したオンライン開催。参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。応募締め切りは３月２２日まで。

チーム医療 ❹

栄養サポートチーム（NST）の紹介

チームで患者さんに寄り添ったケアを実践しています！！



NST とは？

NST（Nutrition Support Team，栄養サポートチーム）とは、患者さんに最適の栄養管理を提供するために、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士などで構成された医療チームのことです。

役割

NST は、病気や治療のために十分な食事が取れない患者さんや栄養状態の改善が必要な患者さんに対して、最適な栄養補給方法の提案や、病気の回復や合併症予防に有効な栄養管理方法の提案などを行っています。

対象

当院では、全ての患者さんに栄養管理計画書を作成していますが、その中でも、著しく体重減少がみられる患者さん・褥瘡がある患者さん・低栄養の患者さんを対象にしています。

NST を立ち上げ、今年で９年目になります。活動を開始した当初は、医師より治療と栄養の効果について講義してもらい、スタッフの学習から始まりました。少しずつ患者さんに関わらせていただくことで、治療と栄養の大切さと、栄養の持つ力を知ることができました。そして今では、病棟スタッフから食事について相談されたり、他のチームと関りながら、患者さんのより良い治療のサポートができるようになりました。

これからも、患者さんの栄養改善につなげるように多職種で活動を続けていきます。

医療法人 惇慧会
外旭川病院
日本医療機能評価機構 認定第 LL54 号
〒 010-0802 秋田市外旭川字三後田 142
TEL 018-868-5511　FAX 018-868-5577
《Web》 https://jkk-sotohp.or.jp/sotohp/

- 病床数 241床（療養病棟 207床、緩和ケア病棟 34床）
- 診療科目 / 内科、皮膚科、リハビリテーション科

